

富士市立中央病院 病院だより

第 17 号

発行：平成 24 年 7 月 20 日

〒417-8567 富士市高島町50
電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077
E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp
http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

院内ギャラリーを設置しました

平成24年5月から、患者さんやそのご家族に憩いの空間を提供する事を目的として、当院1階エレベーター前通路に院内ギャラリーを設置しました。

昨年2月と9月に実施した「広報ふじ1000号記念パネル」展示や7月に行った当院の医療救護班による東日本大震災の被災地支援の活動報告の際、大勢の方にご覧いただき好評を得たことから、当院の

患者サービス向上委員会が中心となり院内ギャラリー一常設に向けて計画を進めてまいりました。

来院される患者さんの気持ちを和ませ、診療の待ち時間を有意義に過ごしていただくためにも、多くの方々に出展していただき院内ギャラリーの充実に努めてまいります。

ご来院の際はぜひお立ち寄りください。



5月

5月の展示は、HAPPY DISC PROJECT
による「福島のちいさな花展」でした。



6月

6月の展示は、書道を学ぶ市民グループの書・友の会
(代表：高橋三洲先生)による「書展」でした。

ギャラリー概要

■ 展示時間

平日：午前8時～午後8時
土日祝日：午後1時～午後8時
(お見舞い時間中のみ)
※駐車場を利用される方は、30分毎
50円(消費税別)がかかります。

■ 展示スケジュール

展示月	出展名	出展作品
7月	旅	日本画
8月	富士絵手紙クラブ展	絵手紙
9月	快明堂展示会	はり絵・ぬり絵など

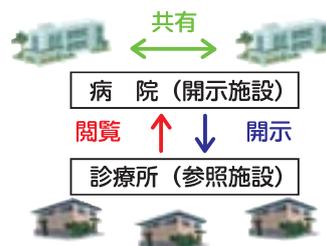
■ 10月以降の展示を希望される方へ

対 象 者：富士市内の大学・専門学校・高等学校・地域の教室やサークル・同好会など
申込み方法：病院経営課へ空き状況について確認後、院内ギャラリー展示申込書
(当院ウェブサイトからダウンロード可)を提出

「ふじのくにねっと」に今秋から当院も参加へ!

「ふじのくにねっと」とは?

県内の病院と診療所を通信ネットワークで接続し、患者さんの同意のもと当院で受診された検査や画像等の診療情報を診療所で閲覧する事が可能となるシステムです。



「ふじのくにねっと」導入による患者さんへのメリットは?

- ・当院の受診歴がある患者さんが、引き続き「ふじのくにねっと」会員の診療所(かかりつけ医)に通院される場合は、当院での診療情報が診療所で閲覧できるため、診療がより円滑に。
- ・当院と他病院が診療情報を共有する事で、重複検査や重複処方の防止になるとともに、専門医間での診療方法の検討がスピーディに。

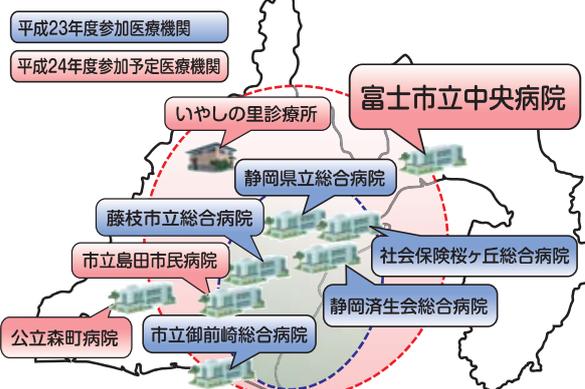
病診連携による安心・安全な地域完結型医療の推進!

「ふじのくにねっと」は病院と診療所が情報通信技術によって情報を共有化し、病診連携を推進するシステムの事です。「ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会」が運営しており、当院もこの秋から参画するために準備を進めています。

このシステムでは、患者さんの同意のもと中央病院の診療情報の一部を、紹介元の診療所が「ふじのくにねっと」会員である場合に開示します。患者さんの個人情報保護に対しましては万全を期しておりますのでご安心ください。

患者さんや各診療所の医師の皆さまにご理解ご協力をいただき、富士市での地域完結型医療を推進してまいります。

ふじのくにねっと参加医療機関一覧(開示施設)



高齢受給者証の一齐更新について

国民健康保険に加入している70歳以上の方に交付される高齢受給者証が、平成24年8月1日から更新されます。7月下旬には対象の方へ新しい高齢受給者証が郵送されますので、8月1日からは受診の際には保険証と一緒に、新しい高齢受給者証をご提示ください。

【70歳から74歳の方】

高齢受給者証が黄色のものから、藤色のものへと変更されます。

高齢受給者証には自己負担割合(1割または3割)が記載されています。1割負担の方は、一部負担金の割合の欄に【2割(25年3月末日まで1割)】と記載されています。これは国の軽減特例措置として平成25年3月31日まで、負担割合が1割に据え置かれているためです。

【75歳以上の方】

~~高齢受給者証~~が藤色のものから、緑色のものへと変更されます。
後期高齢者医療被保険者証

富士市立中央病院診療日程表

平成24年7月1日現在

診療科 《部長名》		月	火	水	木	金	備考	
内科 (代謝一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (腎臓内科)《笠井健司》 (肝臓病)	初診	山城 藤井 五條	岸田 浅野/原	三上 谷口 五條	高橋 藤井 五條	宇田川 山城 五條	火曜日は奇数週が浅野医師、偶数週が原医師の診察 水曜日の谷口医師の診察は、午後予約のみ 水曜日は奇数週が岸田医師、偶数週が高橋医師の診察 水曜日の鳥巢医師、木曜日の平野医師は午前予約のみ	
		木村 宇田川 梶原	木村 笠井 馬場	木村 岸田/高橋 鳥巢	木村 宇田川 平野	三上 笠井		
	神経内科	(休診)	森田	高木	上山	森田		《初診は完全紹介状制》 木・金の診察は午後2時～4時、水は午前9時～11時
	循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	阪本 山崎 田中	(交替制) 三川	三川	山崎 三川 浦部		富永/浦部 三川 阪本
小児科《瀬川孝昭》		千葉 瀬川 秋山	瀬川 秋山	千葉 瀬川 秋山	千葉 秋山	千葉 瀬川 秋山		
外科《梶本徹也》	初診	良元 谷島/石山 共田 梶本	熊谷 坂本 小山 良元	石山 梶本 共田 柏木	谷島 坂本 小山 熊谷 森川	梶本 良元 谷島 柏木	月曜日の午前が谷島医師、午後が石山医師の診察 木曜日の森川医師の診察は、偶数週の午後2時～4時	
整形外科《田邊登崇》		田邊 土田	永井 村上 飯田	(交替制)	永井 村上 飯田	田邊 土田	《初診は完全紹介状制》 《水曜日は初診のみ(紹介状制)》 《水曜日の初診受付は、午前8時半から午前10時まで》	
脳神経外科《諸岡 暁》		野田	秋山 諸岡	(交替制)	鈴木 野田	諸岡	《水曜日は初診のみ》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ	
形成外科《平川正彦》		平川	(休診)	岸	平川	岸		
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤		
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田 鈴木/窪田 矢田 小田	中島 鈴木/窪田 小田	鈴木 窪田 伊藤 窪田	鈴木 窪田 窪田 鈴木	矢田 鈴木/窪田 鈴木 長橋	《婦人科初診は完全紹介状制》 ←不妊症外来 ←婦人科再診 ←妊婦健診	
眼科《藤谷暢子》		藤谷 渡辺	藤谷 渡辺	藤谷	藤谷 渡辺	藤谷 渡辺		
耳鼻咽喉科《高柳博久》		石垣 森本	高柳 (交替制) 森本	(交替制)	石垣 高柳	(交替制)	金曜日は初診のみ	
皮膚科《津嶋友史》		津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	津嶋 青島	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週 水曜日の青島医師の診察は、偶数週	
放射線科		成尾 竹永	萬/東条 竹永	(担当医) 清水/藤井 竹永	(交替制) 竹永	(担当医) 成田/松井 竹永	←治療外来 《初診は完全紹介予約制》 ←診断外来 《治療外来は午前中のみ》	
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山 井出 永沼	勝山 井出 永沼 川瀬/渡邊	勝山 井出 永沼	勝山 井出 永沼 川瀬/渡邊	勝山 井出 永沼	川瀬医師・渡邊医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、 木曜日は第1週と第3週	

※都合により、内容が変更になることがあります。

医師の人事異動について 病院総務課内線 2217

退任日:平成24年6月30日 就任日:平成24年7月1日

診療科	退任医師名	就任医師名
外科	アベ キョウヘイ 阿部 恭平	イシヤマ マモル 石山 守
	マツモト トモ 松本 倫	クロ、ゴウチ タカノリ 黒河内 高範
		タケシタ ケンジ 竹下 賢司
整形外科	ハラ ケイゴ 原 圭吾	ムラカミ ヒロシ 村上 宏史

形成外科からのお知らせ

火曜日は手術日のため、休診といたします。
ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

整形外科からのお知らせ

水曜日の外来診察につきましては、受付時間を午前8時30分から午前10時までとし、診察開始時間は午前9時からといたします。
ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

各科紹介

呼吸器内科

皆さま、こんにちは。呼吸器内科です。本年は昨年の2名より1名増員となり、3名の医師で診療に当たっております。

扱う病気は、気管支喘息、肺気腫、肺炎、間質性肺炎、肺がん、結核、非結核性好酸菌症、気管支拡張症が代表的です。結核に対しては結核病棟があり、富士市及び富士宮市での結核患者さんに対応しております。肺がんに関しては、主に気管支内視鏡による診断を行っており、治療は静岡県立がんセンターに紹介受診とさせていただいております。気管支拡張症による咯血に関しては、放射線科で気管支動脈塞栓術による止血術を行っております。

当院は3年前より電子カルテが導入され、フィルムレスとなりましたので、胸部レントゲンやCTの比較読影が、以前と比べて格段に簡素化され、診断の正確性に貢献しております。電子カルテの導入は、呼吸器内科における診断及び待ち時間の短縮に著しく貢献していると考えられます。

富士市、富士宮市では呼吸器内科を専門としている医療機関は決して多くはなく、呼吸器疾患の患者さんの紹介受診数が多いことが、当院呼吸器内科の特徴の一つと考えられます。

富士市は製紙工場が多く、気管支喘息や肺気腫の患者さんも多いので、今後も地域に貢献できる医療をめざして頑張っていきたいと思っております。



劉医師 木村医師 三上医師

病棟紹介 ~7B病棟~

7B病棟は、整形外科・形成外科・眼科・皮膚科の55床の混合病棟です。スタッフは整形外科医師5名・形成外科医師2名・眼科医師2名・皮膚科医師2名・看護師32名（男性2名）、医療補助3名で構成されています。

各科の特殊性を踏まえ、一人ひとりの患者さんに“そのひとらしさ”を大切にされた看護を提供できるように心がけています。整形外科の大腿骨頸部骨折の患者さんは地域連携クリニカルパスの計画に沿って、治療・援助を行い回復期病院と医療連携を図り、患者さんがスムーズにリハビリ病院へ転院できるように支援しています。

平成21年度から、患者さんと情報を共有し、患者さんのニーズに合わせた看護が提供できることを目的に、ウォーキングカンファレンスを導入しました。毎日ベッドサイドで患者さんと1日の看護計画を立て、シャワー浴・足浴などの清潔ケアを、患者さんの要望に沿って行っています。

患者さんからは看護師との信頼関係ができとても良いとの評価をいただいております。

入院生活が安全で安心して過ごせるよう、各科医師・看護師・スタッフがチームを組み日々努力しています。





おしらせ



【熱中症対策】

今年も熱中症の季節がやってきました。

報告では2010年の1年間に熱中症で救急搬送された方は54000人、亡くなられた方は1731人にも及び、社会的にも大きな問題となっています。熱中症は一番暑くなる8月だけではなく、急激な暑さに体が順応できていない梅雨明けの時期にも多いとされ、早急な対策が必要といえます。

最近では日常動作を行っているだけの方（特にお年寄り）に発症する非労作性熱中症が注目されており、何となくぼーっとする、気分が悪い、頭痛・めまいがするといったすぐに熱中症とわかる症状がないため、熱中症にか



かっていること自体に気づかないことがあります。そのため早めから熱中症を疑い、予防をしっかり行う事が大切です。

エアコンや扇風機を用いて室温を28度以下に抑える事、定期的な水分摂取を心掛ける事、そしてバランスの良い食生活を心掛ける事などが予防としてあります。特に水分摂取は自覚症状が無いと怠りやすいため、喉が渇かなくても時間を決めて定期的に摂取する事が重要です。その際には汗として排泄されてしまう塩分の補充も必要です。スポーツドリンクは水分補給に有用ですが塩分補充に不十分なものもあるので注意して下さい。

また実際に熱中症になってしまった場合には水分・塩分を補充し、霧吹き等で気化熱を利用して体温を下げる事が有用ですが、自力での対応が困難な場合には至急病院を受診して下さい。



【看護の日イベント】

ナイチンゲールの誕生日である5月12日が「看護の日」として制定されています。今年は、東日本大震災の体験から、もう一度、絆や笑顔、支えあうところの大切さと共に、健康の大切さを考える機会となるよう、「看護の心をみんなの心に 絆～笑顔・支えあうところをあなたに伝えたい～」として記念行事を企画し5月11日に開催しました。

玄関ホールで血圧測定、看護、療養、介護の相談、新聞紙と紙おむつで作る簡易便器の作

り方の紹介等を実施しました。当日は150名以上の方が参加して下さい、さまざまな声をお伺いいたしました。

私たちは、今後も専門職としてできる限り皆さまのお役にたてるように努力してまいります。



【花の植替え】

当院では昨年7月より正面玄関横に花壇を設置しており、この度、富士市花の会さまにご協力いただき花の植替えを行いました。

マリーゴールド、サルビア、ブルーサルビア、コリウスと色とりどりの花が当院の玄関を彩

っておりますので、お越しの際はぜひご覧いただければと思います。





総合相談センター ～こんな相談を受け付けています～ 内線2046

- 看護相談(がん相談含む)・よろず相談…患者さんご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
 - 医療安全相談…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい事など、専任のリスクマネージャーがご相談に応じます。
 - 医療福祉相談(健診含む)…患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。(医療福祉相談のみ 内線2918) ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お気軽にお声をお掛け下さい。
- 受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:30

その他の病院内の相談は…



- お薬相談
月～金 8:30～17:00 相談室(お薬渡し口隣り)
お問い合わせ:薬剤科 内線2126
- 栄養相談 ※予約制です。
月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)
お問い合わせ:栄養科 内線2146
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明
月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)
お問い合わせ:臨床検査科 内線2267
- フットケア相談 糖尿病の患者さまの足のケア
第2・第4水・木曜 13:30～15:30 内科外来(2階)
お問い合わせ:内科外来 内線2285
- 医療放射線被ばく相談 ※予約制です。
火・木曜日 放射線科外来(1階)
お問い合わせ:中央放射線科 内線2153

各種教室のご紹介

患者さんご家族を対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

- 腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 内線2146
日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00
- ファミリークラス
お問い合わせ:産婦人科外来 内線2337
日時:毎月3回 13:00～15:00

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で59メニュー、すべて無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。

- 詳細は当院ウェブサイトまで
<http://fujishi.jp/~byoin/>
お問い合わせ:病院経営課 内線2221

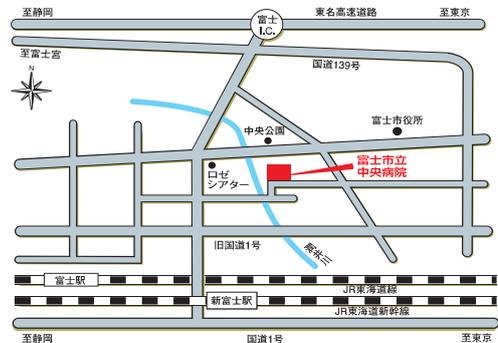
富士市立中央病院 Fuji City General Hospital

～平成24年度病院指針～「地域と歩む医療の推進」

〒417-8567 住所:静岡県富士市高島町50
電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077
E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp
ウェブサイト:<http://fujishi.jp/~byoin/>

【アクセス】東名高速道路 富士ICより 車で10分
東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分
東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

○病院だよりに関するご意見ご要望は病院経営課へお願いします。
電話:0545-52-1131 内線:2221・2222 E-mail:ch-keiei@div.city.fuji.shizuoka.jp



どうぞお気軽にご相談下さい



認定補聴器技能者
富士宮補聴器センター
夫婦店 (富士市石坂)

間違いない補聴器選びをお約束

お客様本位の接客姿勢
安心の貸出しシステム
ご購入後の再調整まで

富士市石坂
大淵街道沿い
お身体が不自由で来店
できない方はスタッフが
出張いたします!

富士市石坂 85-16
TEL・FAX
0545-53-2365
営業時間
9:00～17:00
日・祝日定休 駐車場有



私たちは、音を耳で聴き、脳で聞き取ります。

東海補聴器センター 富士店

電話:0545-57-5134

営業時間:午前9時～午後5時まで
定休日:日曜日、祝日、第4土曜日
富士市榑町6-36



広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。
「病院だより 第18号(10月20日発行)」に広告を掲載しませんか。お問い合わせ:病院経営課 内線2221・2222